

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11301

文化的風土の醸成事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		文化スポーツ費	
	目		文化振興費	
	大事業		文化振興事業	
	中事業		文化的風土の醸成事業	

事業種別	継続			関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課 福田 幸誠 435-1194
事業実施の根拠法令				関連課	読書活動推進課、和歌山城整備企画課

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	本市の文化の振興		本市が輩出した著名な文化人を広く知らしめ、文化の発信と文化的風土の醸成を図る事業を実施。			
事業内容		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		東京にある有吉佐和子邸の復元のための建築工事、文化的風土の醸成に関するイベント実施、資料調査	有吉佐和子記念館の駐車場整備及び管理運営、文化的風土の醸成に関するイベント実施、記念館から河西橋への案内看板設置、開館式典準備、キャプション製作等	有吉佐和子記念館の管理運営、文化的風土の醸成に関するイベント実施等。 有吉佐和子文学賞の実施。	有吉佐和子記念館の管理運営、文化的風土の醸成に関するイベント実施等 有吉佐和子文学賞の実施。	

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	121,145	128,082	11,070	16,312	12,294	11,930	11,992	0	0	0
伸び率(%)	13,792.8%	170.3%	△90.9%	△87.3%	11.1%	△26.9%	△2.5%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	2,017	2,095	5,216	4,827	4,872	4,872	0	0	0
	正規職員以外	46	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2,063	2,095	5,216	4,827	4,872	4,872	0	0	0
国庫支出金	57,773	60,411	1,044	1,137	1,438	1,350	715	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	63,107	72,764	9,814	9,667	11,463	10,378	1,411	0	0	0
一般財源(税等)	265	△5,093	212	5,508	△607	202	9,866	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	0.26	0.27	0.67	0.62	0.62	0.62	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	管理運営委託料9,972千円、業務委託料 786千円 展示その他委託料 100千円 等 【令和3年度繰越分】整備工事請負費 5,650千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
イベント開催数		件	目標値	1	1	1	1	
			実績値	0	1	1		
			達成度(%)	0%	100%	%	%	%
有吉佐和子文学賞の実施		回数	目標値			1	1	1
			実績値			1	1	1
			達成度(%)	%	%	%	%	%
参加者数		人	目標値	100	100	100	100	
			実績値	0	122	327		
			達成度(%)	0%	122%	%	%	%
有吉佐和子文学賞への応募作品数		点	目標値			500	1000	1000
			実績値			2077		
			達成度(%)	%	%	%	%	%

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる		あまりできない	○ できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	令和4年6月の有吉佐和子記念館開館後資料の展示公開やイベントの開催など継続的に行い、文化的風土を醸成する。文学の振興を図るため、令和5年度に創設した有吉佐和子文学賞を継続して実施する。
見直し・改善内容	令和5年度以降は、記念館でのイベントの充実を図るとともに、有吉佐和子文学賞を実施し、文化的風土のさらなる醸成に努める。